

中学校 社会 指導例

○課題の見られた問題 ④(3)

○出題のねらい

資料と主題図の情報を関連付け、5世紀の東アジアの様子を指摘することができるかを判断する問題である。出題の意図は、倭王武の手紙の内容から大和朝廷の統一の様子と東アジアとの関わりを読み取り、その時代を表す適切な主題図を指摘する問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、約半数の生徒が誤答である選択肢ウ（7世紀初めの東アジア）を選択していた。

原因として、「弥生時代、古墳時代、飛鳥時代に活躍した人物を把握できていない」「大和朝廷の勢力の広がり」と東アジアの情勢の変化を関連付けられていない」という2点が考えられる。

課題として、各時代の特色を他の時代と比較して捉えたり、日本と諸外国とを関連付けて思考・判断したりする学習活動が不足していることが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、複数の資料を比較したり関連付けたりして各時代の特色や推移を考察する学習活動の工夫が必要である。また、歴史的事象を多面的・多角的に捉えるために、ペアやグループでの協働的な学習場面を設定した学習過程の工夫が必要である。

指導例

複数の資料を比較したり関連付けたりして東アジアとの交流を考察させる指導 ～单元名「日本列島の誕生と大陸との交流」～

【指導の流れ】

1 弥生時代の社会について、学習したことを振り返らせる。



いくつかのむらをまとめる王が現れ、
小さい国々ができていったね。

奴国は漢の皇帝から金印を
授けられたよ。



邪馬台国の卑弥呼は、魏に使いを送って「親魏倭王」という称号と金印を授けられたよ。

ポイント

弥生時代の日本には小国が複数あり、中国に朝貢していた国もあったことを確認させる。

2 古墳時代（5世紀）の日本の地図や資料を提示し、気付いたことを発表させる。

学習活動

地図や資料から気付いたことをペアで話し合う。

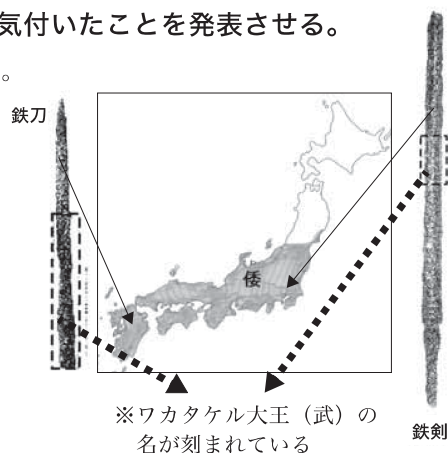


弥生時代はいくつかの国に分かれていたけど、「倭」という1つの国になっているよ。

九州地方から東北地方南部まで勢力を
広がっていたんだね。



鉄剣と鉄刀には「ワカタケル大王」と刻まれているから、倭の王は、「大王」と呼ばれるようになっているんだね。



ポイント

「大和朝廷」の大王が、九州地方から東北地方南部まで勢力を広げたことを捉えさせる。

3 本時の学習課題を設定し、予想させる。



大和朝廷が地方の豪族に従え、勢力を広げることができたのはなぜでしょうか。

＜学習課題＞ なぜ「大和朝廷」は勢力を広げることができたのだろうか。



弥生時代と同じように、中国に使いを送り、倭の国王としての地位を認めてもらったんじゃないかな。

鉄剣と鉄刀が見つまっているから、鉄製の武器を使って勢力を広げたんだと思うわ。



学習活動

教科書や資料から読み取ったことを、グループで整理する。

倭王武の手紙（部分要約）

私の祖先は、自らよろいやかぶとを身に着け、山や川をかけめぐり、東は55国、西は66国、さらに海をわたって95国を平定しました。しかし私の使いが陛下の所に貢ぎ物を持っていくのを、高句麗がじゃまをしています。今度こそ高句麗を破ろうと思いますので、私に高い地位をあたえて激励してください。（「宋書」倭国伝）

大王は中国に使いを送り、高い位を与えてもらったんだね。朝鮮半島にも勢力を伸ばしたけど、高句麗という国とは仲が悪そうだね。



古墳から出土した鉄の延べ板
(奈良県)

大和朝廷は朝鮮半島の伽耶地域などから鉄の延べ板を輸入して、溶かしていろいろなものをつくっていたんだね。伽耶地域の国々とは交流が深かったんだね。



集団名	おもな仕事
くろつくりべ 陶作部	すえき 須恵器をつくる
からかぬちべ 韓鍛冶部	きんぞく 鉄などの金属を加工する
にしごりべ 錦織部	きぬおりもの 絹織物などをつくる
ふひとべ 史部	きろく 記録をする
えかきべ 画部	え 絵をえがく

大和朝廷は、高度な技術をもつ渡来人を編成し、さまざまな物資や進んだ技術を取り入れた。

高句麗好太王碑文

新羅・百済はもともと高句麗に従っていたが、倭が391年に海を渡り、百済・伽耶・新羅を征服した。その後、百済は倭と交流を深めた。そこで高句麗の好太王は平壤におもむいた。そのとき倭に攻め込まれている新羅が援軍を求めてきたので、好太王は歩兵・騎兵5万人を派遣した。その軍が新羅に着くと、倭の軍は退いた。



好太王(広開土王)碑と碑文拓本



大和朝廷は、朝鮮から来た人々から進んだ技術を取り入れて力を強めていったんだね。

大和朝廷は伽耶地域や百済とは交流があったけど、新羅や高句麗とは戦っていたんだね。



4 3つの東アジアの地図（2世紀、5世紀、7世紀）を比較し、古墳時代（5世紀）の地図を選択させる。

学習活動

読み取った情報を基にして、古墳時代（5世紀）の東アジアの地図を選択する。



資料から読み取ったことを整理すると、このころの日本と東アジアを表した地図は3つのうち、どれでしょうか。

5 学習課題についてまとめさせる。

学習活動

資料から読み取ったことを関連付けて、学習課題に対するまとめを表現する。

ポイント

中国や朝鮮半島の国々との交流を通して、大和朝廷が勢力を広げたことを、多面的・多角的な視点（朝鮮半島への進出、鉄の輸入、進んだ技術の導入など）から考察し、まとめさせる。